

第73回日本公衆衛生学会総会（栃木県・宇都宮市）のまとめ

1 名誉学会長・名誉顧問・学会長・副学会長・顧問・監事

| | | |
|-------|-------|---------------------------|
| 名誉学会長 | 福田 富一 | 栃木県知事 |
| 名誉顧問 | 佐藤 栄一 | 宇都宮市長 |
| 学会長 | 武藤 孝司 | 獨協医科大学公衆衛生学講座教授 |
| 副学会長 | 名越 究 | 栃木県保健福祉部長 |
| | 太田 照男 | 一般社団法人栃木県医師会長 |
| | 川中子武保 | 宇都宮市保健福祉部長 |
| 顧問 | 稲葉 憲之 | 獨協医科大学学長 |
| 監事 | 大塚 崇央 | 栃木県保健福祉部保健福祉課 主幹兼課長補佐（総括） |
| | 宇梶 幸男 | 宇都宮市保健所総務課長 |

2 開催日

平成26年（2014年）11月5日（水）～7日（金）

3 開催地

栃木県宇都宮市

4 会場

栃木県総合文化センター
〒320-8530 栃木県宇都宮市本町 1-8
宇都宮東武ホテルグランデ
〒320-0033 栃木県宇都宮市本町 5-12
ニューみくら
〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和 1-3-6
宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス（自由集会会場）
〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り 1-3-18

5 メインテーマ

連携と協働：理念から実現に向けて

6 意見交換会

日時…平成26年（2014年）11月6日（木） 18：30～20：30
会場…宇都宮グランドホテル 1階・平安の間
有料参加者数…192名

7 参加者数

有料参加者数 3,699名（うち事前登録者2,351名）
《都道府県別登録者数および割合》

| 都道府県 | 事前参加登録 | 当日参加登録 | 総数 | % |
|--------|--------|--------|-------|--------|
| 北海道 | 51 | 27 | 78 | 2.11% |
| 青森県 | 33 | 15 | 48 | 1.30% |
| 岩手県 | 19 | 12 | 31 | 0.84% |
| 宮城県 | 54 | 35 | 89 | 2.41% |
| 秋田県 | 29 | 9 | 38 | 1.03% |
| 山形県 | 9 | 16 | 25 | 0.68% |
| 福島県 | 39 | 20 | 59 | 1.60% |
| 茨城県 | 81 | 37 | 118 | 3.19% |
| 栃木県 | 168 | 105 | 273 | 7.38% |
| 群馬県 | 57 | 28 | 85 | 2.30% |
| 埼玉県 | 142 | 93 | 235 | 6.35% |
| 千葉県 | 89 | 38 | 127 | 3.43% |
| 東京都 | 391 | 295 | 686 | 18.55% |
| 神奈川県 | 125 | 61 | 186 | 5.03% |
| 新潟県 | 35 | 16 | 51 | 1.38% |
| 富山県 | 39 | 4 | 43 | 1.16% |
| 石川県 | 17 | 13 | 30 | 0.81% |
| 福井県 | 4 | 7 | 11 | 0.30% |
| 山梨県 | 30 | 9 | 39 | 1.05% |
| 長野県 | 27 | 14 | 41 | 1.11% |
| 岐阜県 | 19 | 8 | 27 | 0.73% |
| 静岡県 | 37 | 6 | 43 | 1.16% |
| 愛知県 | 112 | 43 | 155 | 4.19% |
| 三重県 | 29 | 11 | 40 | 1.08% |
| 滋賀県 | 24 | 13 | 37 | 1.00% |
| 京都府 | 62 | 26 | 88 | 2.38% |
| 大阪府 | 135 | 62 | 197 | 5.33% |
| 兵庫県 | 64 | 21 | 85 | 2.30% |
| 奈良県 | 32 | 7 | 39 | 1.05% |
| 和歌山県 | 13 | 10 | 23 | 0.62% |
| 鳥取県 | 7 | 8 | 15 | 0.41% |
| 島根県 | 26 | 8 | 34 | 0.92% |
| 岡山県 | 44 | 21 | 65 | 1.76% |
| 広島県 | 33 | 15 | 48 | 1.30% |
| 山口県 | 33 | 13 | 46 | 1.24% |
| 徳島県 | 10 | 3 | 13 | 0.35% |
| 香川県 | 11 | 2 | 13 | 0.35% |
| 愛媛県 | 30 | 10 | 40 | 1.08% |
| 高知県 | 12 | 4 | 16 | 0.43% |
| 福岡県 | 60 | 23 | 83 | 2.24% |
| 佐賀県 | 6 | 4 | 10 | 0.27% |
| 長崎県 | 20 | 17 | 37 | 1.00% |
| 熊本県 | 38 | 14 | 52 | 1.41% |
| 大分県 | 10 | 9 | 19 | 0.51% |
| 宮崎県 | 13 | 3 | 16 | 0.43% |
| 鹿児島県 | 12 | 8 | 20 | 0.54% |
| 沖縄県 | 20 | 8 | 28 | 0.76% |
| 中国(広州) | 0 | 1 | 1 | 0.02% |
| 不明 | — | 116 | 116 | 3.13% |
| 合計 | 2,351 | 1,348 | 3,699 | 100% |

8 総会・特別プログラム等

〈第1日目：11月5日（水）〉

第1会場（栃木県総合文化センター ホール棟1階
メインホール）

10：10～10：55

学会長講演 「連携と協働：理念から実現に向けて」

座長：青柳 潔（長崎大学大学院医歯薬学総合
研究科公衆衛生学分野）

演者：武藤 孝司（獨協医科大学公衆衛生学）

11：00～12：10

特別講演1 「支えることと支えられること
～専門的職業と人生を生きること～」

座長：稲葉 憲之（獨協医科大学）

演者：柳田 邦男（ノンフィクション作家、評論
家）

13：30～14：20

総会

14：30～16：00

鼎談 「連携と協働」

鼎談者：實成 文彦（山陽学園大学・山陽学園短
期大学）

衛藤 隆（社会福祉法人恩賜財団母子
愛育会日本子ども家庭総合
研究所）

櫻井 治彦（公益財団法人産業医学振興
財団）

16：10～18：40

メインシンポジウム 「学校保健，地域保健，産業
保健の連携」

座長：磯 博康（大阪大学医学系研究科）

村嶋 幸代（大分県立看護科学大学）

演者：地域と職域をつなぐもの 新しい可能性へ

小林 章雄（愛知医科大学医学部衛生学講座）

学校保健との連携・協働—その現状と課題—

岡田加奈子（千葉大学教育学部）

子どもの健康支援における地域保健と学校
保健，産業保健の連携

山縣然太郎（山梨大学大学院医学工学総合
研究部社会医学講座）

連携と協働—地域・職域連携推進の活動

黒岩 幹枝（栃木県安足健康福祉センター）

第2会場（栃木県総合文化センター ホール棟1階

サブホール）

14：30～16：30

シンポジウム1 「健康づくりのための睡眠指針
2014（睡眠12箇条）」

座長：内山 真（日本大学医学部精神医学系精
神医学分野）

兼板 佳孝（大分大学医学部公衆衛生・疫
学講座）

演者：睡眠12箇条の概要と改定ポイント

兼板 佳孝（大分大学医学部公衆衛生・疫
学講座）

睡眠と生活習慣病予防・交通事故防止

～疫学知見から～

谷川 武（順天堂大学大学院医学研究科
公衆衛生学）

睡眠衛生教育と睡眠保健指導

田中 克俊（北里大学大学院医療系研究科
産業精神保健学）

睡眠指針2014と睡眠医学

内山 真（日本大学医学部精神医学系精
神医学分野）

16：40～18：40

シンポジウム6 「たばこ規制枠組み条約を踏まえ
たたばこ規制・対策の推進」

座長：中村 正和（大阪がん循環器病予防セン
ター予防推進部）

矢野 栄二（帝京大学大学院公衆衛生学研
究科）

演者：たばこ規制枠組み条約の主な条項の履行状況

野田 博之（厚生労働省健康局がん対策・
健康増進課）

たばこ規制枠組み条約に基づくたばこ製品
の含有物に関する規制と情報開示

樺田 尚樹（国立保健医療科学院生活環境
研究部）

受動喫煙被害に関する訴訟とその法的評価

岡本 光樹（岡本総合法律事務所）

たばこ規制をめぐる今後の法制的課題

田中 謙（関西大学法学部）

健康格差は正の観点からみたたばこ規制の
あり方

田淵 貴大（大阪府立成人病センターがん
予防情報センター）

第3会場（栃木県総合文化センター ギャラリー棟
3階 特別会議室）

14:30~16:30

シンポジウム2 「認知症対策と保健所とのかかわり」

座長：篠崎 英夫（日本公衆衛生協会）

演者：認知症と精神科医療の施策

富澤 一郎（厚生労働省社会・援護局障害
保健福祉部精神・障害保健課）

認知症対策における保健所の役割

宇田 英典（鹿児島県伊集院保健所/全国
保健所長会）認知症対策に果たす精神保健福祉センター
の役割小泉 典章（長野県精神保健福祉セン
ター，全国精神保健福祉セ
ンター長会）国の認知症対策と新たな地域支援事業の取
り組み

迫井 正深（厚生労働省老人保健課）

16:40~18:40

優秀演題賞選考会

座長：小林 廉毅（東京大学）

演者：軽度認知障害が高齢者の転倒恐怖感および
転倒恐怖による活動制限に及ぼす影響上村 一貴（名古屋大学未来社会創造機構
人とモビリティ社会の研究開
発センター抗老化ユニット）乳幼児期のかかわりが社会性発達に及ぼす
影響：出生コホートと保育コホートによる
検証

田中 笑子（筑波大学）

余暇時間における運動・スポーツ活動と外
来・入院医療費との関連：茨城県健康研究
辻本 健彦（筑波大学体育系）一般労働者における暴力の実態と社会経済
的階層別に見た抑うつとの関連：2万人調
査より津野香奈美（和歌山県立医科大学医学部衛
生学教室）自殺死亡の地域格差：保健所管轄区域と市
町村を基本単位とした疾病地図の描出と比
較坪井 聡（自治医科大学地域医療学セン
ター公衆衛生学部門）認知機能低下に対する基本チェックリスト
の予測妥当性の検証：大崎コホート2006研
究

遠又 靖丈（東北大学大学院医学系研究科

公衆衛生学分野）

憩いのサロン参加による要介護リスクの抑
制：愛知県武豊町における5年間の介入研
究

引地 博之（千葉大学予防医学センター）

第4会場（栃木県総合文化センター ギャラリー棟
3階 第1会議室）

12:20~13:10

ランチョンセミナー1 「乳酸菌のあらたな可能性
～ヨーグルトの免疫効果への期待～」座長：小端 哲二（獨協医科大学医学部 免疫学
講座）演者：竹田 和由（順天堂大学大学院医学研究科
研究基盤センター細胞機能研
究室）

共催：株式会社明治

第5会場（栃木県総合文化センター ギャラリー棟
3階 第2会議室）

12:20~13:10

ランチョンセミナー2 「経口血糖降下薬 update」

座長：麻生 好正（獨協医科大学 内科学（内分
泌代謝））演者：犬飼 浩一（杏林大学大学院医学研究科
糖尿病・内分泌・代謝内科）共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会
社/日本イーライリリー株式会社第6会場（栃木県総合文化センター ギャラリー棟
3階 第3会議室）

12:20~13:10

ランチョンセミナー3 「新たな心血管イベントの
予知マーカーとしてのEPA/AA比」

座長：池田 宇一（信州大学医学部循環器内科）

演者：井上 晃男（獨協医科大学心臓・血管内科）

共催：持田製薬株式会社

第7会場（栃木県総合文化センター ギャラリー棟
3階 第4会議室）

12:20~13:10

ランチョンセミナー4 「インターフェロン γ 遊離
試験使用指針について」座長：森 亨（公益財団法人結核予防会結核
研究所）演者：加藤 誠也（公益財団法人結核予防会結核
研究所）

共催：日本ビーシー製造株式会社

第8会場(ニューみくら 2階 洋会議室207+208)

14:30~16:30

シンポジウム3 「災害における公衆衛生的な活動を行なう支援体制(DHEAT)の構築にむけて」

座長:尾身 茂(独立行政法人地域医療機能推進機構)

高野 健人(東京医科歯科大学大学院健康推進医学分野)

演者:大規模災害時における効率的,効果的な自治体間支援の現状と課題

坂元 昇(川崎市健康福祉局)

大規模災害における公衆衛生アセスメント
尾島 俊之(浜松医科大学健康社会医学講座)

大規模災害に向けた公衆衛生専門家の教育訓練の在り方

金谷 泰宏(国立保健医療科学院健康危機管理研究部)

災害における公衆衛生的な活動を行う支援体制(DHEAT)の構築

高野 健人(東京医科歯科大学大学院健康推進医学分野)

16:40~18:40

シンポジウム7 「原子力災害後の食品摂取による放射線曝露への対策と現状」

座長:山口 一郎(国立保健医療科学院生活環境研究部)

杉山 英男(松本大学大学院)

演者:生態系における放射性セシウムの挙動と食品への影響

吉田 聡(舩放射線医学総合研究所)

きのこ栽培における放射性セシウムリスクの低減技術開発

根田 仁(舩森林総合研究所)

全国保育園給食を対象とした放射性物質の存在量と被ばく線量の実態

太田 智子(公益財団法人日本分析センター)

国内各地における日常食を介する放射性物質の摂取・暴露量評価

寺田 宙(国立保健医療科学院)

放射線曝露等に関する小児の特性と対応

児玉 浩子(帝京平成大学)

第9会場(宇都宮東武ホテルグランデ4階 さつき)

14:30~16:30

シンポジウム4 「がん登録からがん検診・がん対

策へ〜がん登録推進法成立を受けて〜」

座長:田中 英夫(愛知県がんセンター研究所疫学・予防部)

清水 秀昭(栃木県立がんセンター)

演者:全国がん登録での国と都道府県との連携

—2016年1月の法施行に向けた準備の進捗

松田 智大(国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計研究部)

がん登録のデータを活用してみませんか?

片野田耕太(国立がん研究センターがん対策情報センター)

がん登録のがん検診精度評価への活用

井岡亜希子(大阪府立成人病センターがん予防情報センター)

群馬県がん登録の資料を活用したがん対策

茂木 文孝(群馬県健康づくり財団がん登録室)

16:40~18:40

地方衛生研究所研修フォーラム 「地方衛生研究所の機能強化および保健所との連携の推進」

座長:調 恒明(山口県環境保健センター)

澁谷いづみ(愛知県一宮保健所)

演者:地方衛生研究所と保健所との連携の推進

大橋 俊子(栃木県北健康福祉センター(栃木県北保健所))

地方衛生研究所の現状と保健所との連携のあり方

小澤 邦壽(群馬県衛生環境研究所)

地域保健基盤としての地方衛生研究所及び保健所の強化

正林 督章(厚生労働省健康局がん対策・健康増進課)

地方衛生研究所長・保健所長兼務の立場から

平田 宏之(名古屋市衛生研究所・瑞穂保健所)

第10会場(宇都宮東武ホテルグランデ6階 きすげ)

14:30~16:30

シンポジウム5 「健康影響予測評価(health impact assessment)と地域保健:理論と実践」

座長:石竹 達也(久留米大学医学部環境医学講座)

近藤 尚己(東京大学大学院医学系研究科健康教育・社会学分野)

演者:自治体におけるHIAの意義 —中核市移

行に対する HIA の試み—

星子美智子 (久留米大学医学部環境医学講座/久留米市保健所)

大牟田市職員における HIA の実践活動

渡辺 裕晃 (大牟田市企画総務部職員厚生課)

がん教育事業における HIA の実践：事業遂行と利害関係者分析

助友 裕子 (日本女子体育大学体育学部スポーツ健康学科)

健康増進計画における HIA の活用：部署間連携と健康格差

藤野 善久 (産業医科大学公衆衛生学教室)

16：40～18：40

シンポジウム 8 「栃木県脳卒中啓発プロジェクトの取組～脳卒中死亡率の全国ワースト脱却を目指して～」

座長：岡村 智教 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学)

演者：栃木県脳卒中啓発プロジェクトによる啓発効果

竹川 英宏 (獨協医科大学/ (公社) 日本脳卒中協会)

栃木県脳卒中啓発プロジェクトの取組～脳卒中死亡率の全国ワースト脱却を目指して～

宮原 保之 (栃木県医師会)

栃木県脳卒中啓発プロジェクトの取組み～脳卒中死亡率の全国ワースト脱却を目指して

鱒淵 清子 (栃木県真岡市役所健康福祉部健康増進課)

小山市における脳卒中啓発プロジェクトの取組み

福原 円 (小山市役所健康増進課)

とちぎ脳卒中啓発プロジェクト

後藤 明弘 (下野新聞社営業局クロスメディア推進部)

〈第2日目：11月6日 (木)〉

第1会場 (栃木県総合文化センター ホール棟 1階メインホール)

8：50～9：50

教育講演 1 「日本人の食事摂取基準 (2015年版)：活用のための科学と技術」

座長：奥田 昌之 (山口大学大学院医学系研究科)

演者：佐々木 敏 (東京大学大学院医学系研究科)

社会予防疫学分野)

10：00～12：00

シンポジウム 9 「活動事例から公衆衛生活動の方法論の可視化～公衆衛生看護のあり方委員会からの提案～」

座長：平野かよ子 (長崎県立大学)

大木 幸子 (杏林大学)

演者：田原市との「母子ハイリスクケース支援体制」構築から保健所の公衆衛生活動を考える

澁谷いづみ (愛知県一宮保健所)

多職種で活用できる急変時の受診アセスメント票作成への取り組み

畠中 晴美 (神奈川県厚木保健福祉事務所大和センター)

住民との協働活動における地区活動—甲府市健康づくり活動の事例から—

村松 照美 (山梨県立大学看護学部看護学科地域看護学)

13：30～15：00

特別講演 2 「『がんばらない』けど『あきらめない』—命を支えるということ—」

座長：太田 照男 (栃木県医師会)

演者：鎌田 實 (医師, 作家)

15：50～18：00

シンポジウム 17 「特定保健指導において、専門職の“保健指導力”をいかに高めるか」

座長：津下 一代 (あいち健康の森健康科学総合センター)

武見ゆかり (女子栄養大学)

演者：専門職の保健指導に関する知識・技術・自信に関する現状と課題

村本あき子 (あいち健康の森健康科学総合センター)

静岡県国保連合会における“保健指導力”向上の試み

高塚 祐子 (静岡県国民健康保険団体連合会総務部事業課)

協会けんぽにおける“保健指導力”向上の試み

六路 恵子 (全国健康保険協会)

専門職の“保健指導力”向上に必要なエビデンスとは？—禁煙支援分野からの考察

中村 正和 (大阪がん循環器病予防センター予防推進部)

都道府県及び都道府県国保連合会による市町村の「保健指導力」向上にむけた研修の実態
杉田由加里(千葉大学大学院看護学研究科)

第2会場(栃木県総合文化センター ホール棟1階サブホール)

8:50~9:50

教育講演2 「働き盛り世代におけるヘルスリテラシーと健康教育」

座長:江口 泰正(産業医科大学産業保健学部人間情報科学講座)

演者:福田 洋(順天堂大学医学部総合診療科)

10:00~12:00

シンポジウム10 「東日本大震災からの復興~中長期視点で求められていることを考える~」

座長:岩室 紳也(ヘルスプロモーション推進センター(オフィスいわむろ))

演者:今こそ求めたい支援とは ~現場からの生の声~

大石万里子(福島県南相馬市原町保健センター)

復興に向けた保健所の支援の実践と課題
岩瀬美津枝(宮城県東部保健福祉事務所(石巻保健所))

外部からの中長期支援の現状と課題
~未来図会議で切り開く未来~

佐々木亮平(岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構)

ビルド・バック・ベター:復旧から復興への掛け橋としての国際人道支援の理念
中村 安秀(大阪大学大学院人間科学研究科)

12:20~13:10

ランチョンセミナー5 「高齢者肺炎予防の重要性和新しい成人用肺炎球菌結合型ワクチンへの期待」

座長:角野 文彦(滋賀県健康医療福祉部)

演者:宮下 修行(川崎医科大学附属川崎病院総合内科1)

共催:ファイザー株式会社

13:30~15:40

シンポジウム12 「日本人の長寿を支える『健康な食事』で、健康増進と産業振興の真の協働は可能か

座長:田中 久子(女子栄養大学)

上島 弘嗣(滋賀医科大学)

演者:「健康な食事」の基準づくりのねらい

河野 美穂(厚生労働省健康局栄養指導室)

「健康な食事」の基準を支える科学的根拠

佐々木 敏(東京大学大学院医学系研究科)

「健康な食事」の科学と実践としての食環境整備をつなぐ

武見ゆかり(女子栄養大学栄養学部食生態学研究室)

「健康な食事」から社員の健康増進へ:株式会社タニタの取り組み

谷田 千里(株式会社タニタ)

「みんなと暮らすマチを幸せ(健康)にする」~「マチの”健康”ステーションを目指して」

鈴木 清晃(株式会社ローソン(HR・ヘルスケア担当))

15:50~18:00

シンポジウム18 「次期健やか親子21を踏まえた母子保健計画の策定について」

座長:山縣然太郎(山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座)

一瀬 篤(厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課)

演者:健やか親子21次期計画の概要と重点事項

一瀬 篤(厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課)

市町村の母子保健活動と計画との整合性

一客観的な情報を構造的に統合し活動に活かす~

中板 育美(公益社団法人日本看護協会)

母子保健における都道府県及び保健所の役割

成田 友代(世田谷区世田谷保健所)

重点事項である「育てにくさ」及び「虐待防止」に対する方略

秋山千枝子(あきやま子どもクリニック)

乳幼児健康診査の標準化と情報の利活用

山崎 嘉久(あいち小児保健医療総合センター保健センター/「乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連携による母子保健指導のあり方に関する研究」班)

わが国の母子保健の健康格差の現状

山縣然太郎(山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座)

第3会場 (栃木県総合文化センター ギャラリー棟
3階 特別会議室)

8:50~9:50

教育講演3 「プリオン病：わが国の実態と対策の
連携」

座長：廣田 良夫 (医療法人相生会臨床疫学研究
センター)

演者：中村 好一 (自治医科大学公衆衛生学教室)

10:00~12:00

奨励賞受賞講演

「市町村が実施する地域保健に関する調査研究への
支援活動」

座長：小林 雅與 (栃木県南健康福祉センター)

演者：上原 里程 (宇都宮市保健所)

「精神障がい者家族への支援技術とプログラム開発
に関する実践研究」

座長：村嶋 幸代 (公立大学法人大分県立看護科
学大学)

演者：蔭山 正子 (東京大学大学院医学系研究科
健康科学・看護学専攻地域看
護学分野)

「地域高齢者における介護予防の視点からみたサル
コペニアの意義について」

座長：安村 誠司 (福島県立医科大学医学部公衆
衛生学講座)

演者：谷本 芳美 (大阪医科大学)

「医師供給と医療へのアクセスに関する公衆衛生学
的研究」

座長：高橋 秀人 (福島県立医科大学医学部)

演者：豊川 智之 (東京大学大学院医学系研究科
健康医療政策学分野)

「地域における生活習慣病予防のための公衆衛生
活動の実践とその評価」

座長：谷川 武 (順天堂大学)

演者：山岸 良匡 (筑波大学医学医療系社会健康
医学)

12:20~13:10

ランチョンセミナー6 「わが国のたばこ対策の現
状・課題と今後の地域での取り組み方」

座長：兼板 佳孝 (大分大学医学部 公衆衛生
学・疫学講座)

演者：中村 正和 (大阪がん循環器病予防セン
ター予防推進部)

共催：ファイザー株式会社

13:30~15:40

シンポジウム13 「これ以上の身体活動低下を防ぐ
ための社会環境の整備と改善」

座長：下光 輝一 ((公財)健康・体力づくり事
業財団)

種田 行男 (中京大学工学部)

演者：国民健康・栄養調査からみた我が国の身体
活動状況と社会環境

澤田 亨 (独立行政法人国立健康・栄養
研究所)

身体活動のポピュレーションアプローチ

井上 茂 (東京医科大学公衆衛生学分野)

身体活動・座位行動に影響を及ぼす社会環
境

岡 浩一郎 (早稲田大学スポーツ科学学術
院)

身体活動・運動行動に影響を及ぼす遺伝要
因

村上 晴香 ((独)国立健康・栄養研究所)

協賛：公益財団法人健康・体力づくり事業財団、

株式会社社会保険研究所、

NPO法人日本健康運動指導士会、株式会
社ルネサンス

15:50~18:00

シンポジウム19 「がん患者の就労支援 —医療現
場・地域・職域・行政における連携の実際」

座長：錦戸 典子 (東海大学大学院健康科学研究
科看護学専攻)

演者：がん就労者の支援—医療現場・職域・地域
の連携に向けて

高橋 都 (国立がん研究センターがん対
策情報センターがんサバイ
バーシップ支援研究部)

職域におけるがん就労者支援

立石清一郎 (産業医科大学産業医実務研修
センター)

地域におけるがん就労者支援

松本 陽子 (NPO法人愛媛がんサポート
おれんじの会)

県行政におけるがん就労者支援

金光 義雅 (広島県健康福祉局がん対策課)

第4会場 (栃木県総合文化センター ギャラリー棟
3階 第1会議室)

12:20~13:10

ランチョンセミナー7 「子宮頸がん検診維新」

座長：鈴木 光明 (日本産婦人科医会がん部会/
自治医科大学産科婦人科講

座)

演者：鈴木 光明 (日本産婦人科医会がん部会/
自治医科大学産科婦人科講
座)

岩成 治 (日本産婦人科医会がん対策委
員会/島根県立中央病院 母
性小児診療部)

共催：株式会社キアゲン

第5会場 (栃木県総合文化センター ギャラリー棟
3階 第2会議室)

12:20~13:10

ランチョンセミナー8 「慢性頭痛の鑑別診断と治
療」

座長：坂井 文彦 (埼玉精神神経センター埼玉国
際頭痛センター)

演者：平田 幸一 (獨協医科大学内科学 (神経))

共催：エーザイ株式会社

第6会場 (栃木県総合文化センター ギャラリー棟
3階 第3会議室)

12:20~13:10

ランチョンセミナー9 「口腔保健の活かし方 口
からはじめるヘルスプロモーション」

演者：加藤 元 (日本アイ・ビー・エム健康保
険組合 予防歯科)

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

第7会場 (栃木県総合文化センター ギャラリー棟
3階 第4会議室)

12:20~13:10

ランチョンセミナー10 「高周波電磁界の健康リス
ク評価—WHOの国際電磁界プロジェクトを中心に
して—」

座長：榎田 尚樹 (国立保健医療科学院 生活環
境研究部)

演者：大久保千代次 (一般財団法人電気安全環境
研究所 電磁界情報セン
ター)

共催：一般財団法人電気安全環境研究所

第8会場 (ニューみくら2階 洋会議室207+208)

8:50~9:50

教育講演4 「21世紀的たばこ問題の俯瞰~喫煙か
ら分煙そして無煙へ, 新たなタバコ製品登場の意味」

座長：矢野 栄二 (帝京大学大学院公衆衛生学研
究科)

演者：望月友美子 (国立がん研究センターがん対

策情報センターたばこ政策研
究部)

10:00~12:00

シンポジウム11 「新たな難病制度における疾病登
録の意義 (国立保健医療科学院企画シンポジウム)」

座長：金谷 泰宏 (国立保健医療科学院健康危機
管理研究部)

緒方 裕光 (国立保健医療科学院研究情報
支援研究センター)

演者：地域における難病医療連携

名越 究 (栃木県保健福祉部)

難病登録の現状と課題 (クロイツフェル
ト・ヤコブ病を例に)

中村 好一 (自治医科大学公衆衛生学教室)

難病登録が疫学に与える影響

曾根 智史 (国立保健医療科学院)

難病登録システムの構造と機能

水島 洋 (国立保健医療科学院)

12:20~13:10

ランチョンセミナー11 「小児アレルギー・呼吸器
疾患の最近の話題~小児の咳嗽診療ガイドライン
2014を中心に~」

座長：石井 芳樹 (獨協医科大学呼吸器・アレル
ギー内科)

演者：吉原 重美 (獨協医科大学医学部小児科学)

共催：小野薬品工業株式会社

13:30~15:40

シンポジウム14 「公衆衛生モニタリング・レポー
ト活動の展望と課題」

座長：原田 規章 (山口大学大学院医学系研究科
環境保健医学分野)

佐藤 眞一 (千葉県衛生研究所)

演者：モニタリング・レポート委員会の2期6年
間の活動を振り返って

橋本 英樹 (東京大学大学院医学系研究科
保健社会行動学分野)

健康危機管理モニタリング・レポートシス
テム構築の進捗状況報告

遠藤 弘良 (東京女子医科大学国際環境・
熱帯医学講座)

感染症分野等の健康危機についてのモニタ
リング・レポート活動の進め方

緒方 剛 (茨城県筑西保健所)

非正規雇用と健康：現状分析と今後のモニ
タリングおよび対策の方向性

川上 憲人 (東京大学大学院医学系研究科
精神保健学分野)

タバコ対策の転換をめざして

矢野 栄二 (帝京大学大学院公衆衛生学研
究科)

15:50~18:00

シンポジウム20 「セーフティプロモーション (公
衆衛生アプローチによる安全・安心づくり) —理論
と実際」

座長: 衛藤 隆 (恩賜財団母子愛育会日本子ど
も家庭総合研究所)

反町 吉秀 (大妻女子大学)

演者: セーフティプロモーションとは? —ヘルス
プロモーションとの関係を含めて

衛藤 隆 (恩賜財団母子愛育会日本子ど
も家庭総合研究所)

日本におけるインターナショナルセーフス
クール (ISS) の活動について

藤田 大輔 (大阪教育大学学校危機メンタ
ルサポートセンター)

交通事故による傷害を減らすために
—効果的予防対策の実践—

一杉 正仁 (滋賀医科大学社会医学講座
(法医学))

亀岡市高齢者コホート研究からみた高齢者
の安全確保

木村みさか (京都学園大学バイオ環境学部)
公衆衛生アプローチからのセーフコミュニ
ティの活動—十和田市での取組経緯

新井山洋子 (セーフコミュニティとわだを
すすめる会)

第9会場 (宇都宮東武ホテルグランデ 4階 さつき)

8:50~9:50

教育講演5 「栃木県における近代予防衛生
—天然痘と闘った医師たち—」

座長: 福田 健 (獨協医科大学)

演者: 中野 正人 (壬生町立歴史民俗資料館)

11:00~12:00

特別セミナー1 「医療分野の研究開発の新たな体
制について」

座長: 磯 博康 (大阪大学医学系研究科)

相澤 好治 (北里大学)

演者: 菱山 豊 (内閣審議官/内閣官房健康・
医療戦略室)

13:30~15:40

シンポジウム15 「地域基盤型 IPE (専門職連携教
育) による連携力の育成」

座長: 萱場 一則 (埼玉県立大保健医療学部)

大嶋 繁 (城西大学薬学部)

演者: 彩の国発の地域基盤型 IPE —4 大学連携
力育成プロジェクトの目指すもの—

新井 利民 (埼玉県立大学保健医療福祉学
部社会福祉子ども学科)

地域ニーズに応える薬剤師の育成

細谷 治 (城西大学薬学部薬学科薬剤学
研究室)

保健医療福祉分野の IPE に建築系学生が
参画する意義と可能性

勝木 祐仁 (日本工業大学工学部生活環境
デザイン学科)

秩父地域における地域基盤型 IPE の多職
種連携促進の効果とこれからの可能性

大久保築世 (小鹿野町保健課)

地域基盤型の専門職連携教育と公衆衛生の
人材育成

柴崎 智美 (埼玉医科大学地域医学・医療
センター)

15:50~18:00

シンポジウム21 「公衆衛生専門職に必要なマネジ
メント能力」

座長: 宮園 将哉 (大阪府四條畷保健所)

西垣 明子 (長野県木曾保健所)

演者: 組織における戦略マネジメント

熊川 寿郎 (国立保健医療科学院)

地域包括ケアシステムと公衆衛生

~医療・介護依存からの脱却~

櫃本 真聿 (愛媛大学医学部附属病院総合
診療サポートセンター)

保健所長・保健所医師としての組織マネジ
メント

宮園 将哉 (大阪府四條畷保健所)

第10会場 (宇都宮東武ホテルグランデ 6階 きすげ)

8:50~9:50

特別報告1 「イギリスが学ぶ日本の保健所制度」

座長: 中原 俊隆 (京都大学大学院医学研究科)

演者: 英国保健行政にみる「日本型保健行政」:

「保健所」と「健康診査」を中心に

松田 亮三 (立命館大学人間科学研究科/
産業社会学部)

11:00~12:00

特別セミナー2 「健康労働寿命の延長に向けて
—新たな生活習慣病対策—」

座長：立道 昌幸（東海大学医学部基盤診療学系
公衆衛生学）

演者：宗像 正徳（東北労災病院生活習慣病研究
センター）

13:30~15:40

シンポジウム16 「コホート研究と政策提言—根拠
に基づく連携と協働に向けて—」

座長：安梅 勅江（筑波大学医学医療系エンパワ
メント科学研究室）

演者：出生コホートから—学際学融合効果

塩川 宏郷（筑波大学人間系）

地域コホートから：生涯発達効果

奥村 理加（飛鳥村役場）、伊藤 澄雄
（飛鳥村役場）

多世代交流コホートから —エンパワメント
効果

河西 敏幸（宮城大学共通教育センター）

保育コホートから：パートナーシップ効果
渡辺多恵子（日本保健医療大学）

15:50~18:00

シンポジウム22 「これからの建築物衛生管理の問
題点と方向」

座長：篠崎 英夫（公益財団法人日本建築衛生管
理教育センター/日本公衆衛
生協会）

多田羅浩三（公益財団法人日本建築衛生管
理教育センター/日本公衆衛
生協会）

演者：豊かさを求める生活文化への建築物維持管
理の適合を考える

一戸 隆男（公益社団法人全国ビルメンテ
ナンス協会）

公衆衛生と建築物衛生法

池田 真紀（日本大学医学部公衆衛生学分
野）

大井田 隆（日本大学医学部公衆衛生学分
野/日本公衆衛生学会）

建築物衛生行政をめぐる動向と制度に関す
る基本的視座

中島 賢一（厚生労働省健康局生活衛生課）

建築物衛生の今日的課題と方向性

大澤 元毅（国立保健医療科学院生活環境
研究部）

<第3日目：11月7日（金）>

第1会場（栃木県総合文化センター ホール棟1階
メインホール）

8:50~9:50

教育講演6 「わが国一般高齢者の低栄養の現状と
対策」

座長：武見ゆかり（女子栄養大学栄養学部）

演者：新開 省二（地方独立行政法人東京都健康
長寿医療センター研究部（社
会参加と地域保健研究チー
ム））

10:00~11:30

特別講演3 「現場に元気・活気を与えるコミュニ
ケーション術～スポーツ現場に学ぶペップトークと
は～」

座長：増田 和茂（公益財団法人健康・体力づく
り事業財団）

演者：岩崎 由純（トレーナーズスクエア株式会
社）

13:30~15:30

市民公開講座 「認知症の予防・治療・介護」

座長：名越 究（栃木県保健福祉部）

下田 和孝（獨協医科大学精神神経医学講
座）

演者：認知症の予防は可能か

鈴木 隆雄（国立長寿医療研究センター研
究所）

認知症の予防・治療・介護と地域連携

池田 学（熊本大学大学院生命科学研究
部神経精神医学分野）

認知症の人とご家族を発症初期から継続的
に支えるために～もの忘れクリニックの役
割～

藤本 直規（医療法人藤本クリニック）

訪問看護で在宅認知症療養者家族を支えら
れるか—多職種との連携と協働—

永井 恵子（栃木県看護協会とちぎ訪問看
護ステーションおやま）

共催：エーザイ株式会社

第2会場（栃木県総合文化センター ホール棟1階
サブホール）

8:50~9:50

教育講演7 「健康づくりのための身体活動基準
2013とアクティブガイド」

座長：井上 茂（東京医科大学公衆衛生学分野）

演者：宮地 元彦（独立行政法人国立健康・栄養研究所）

協賛：公益財団法人健康・体力づくり事業財団，株式会社社会保険研究所，NPO 法人日本健康運動指導士会，株式会社ルネサンス

第3会場（栃木県総合文化センター ギャラリー棟 3階 特別会議室）

8：50～9：50

教育講演8 「第二期特定健診保健指導の新規課題の対応方法」

座長：藤田 博美（北海道大学医学部社会医学講座 座衛生学細胞予防医学分野）

演者：今井 博久（国立保健医療科学院）

10：00～12：00

シンポジウム23 「多角的視点から見た自殺対策の今後の課題」

座長：本橋 豊（京都府健康福祉部/京都府立医科大学）

川上 憲人（東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野）

演者：地域自殺対策緊急強化基金を通じた地方自治体における自殺対策の検証評価

中西 三春（公益財団法人東京都医学総合研究所精神保健看護研究室）

地域における自殺予防対策関連活動の拡がり課題

金子 善博（秋田大学大学院医学系研究科 精神医療政策と今後の自殺対策）

伊藤 弘人（国立精神・神経医療研究センター）

コミュニティ・アプローチによる自殺対策の可能性：JAGES プロジェクトの知見から

近藤 克則（千葉大学予防医学センター環境健康学研究部門）

12：20～13：10

ランチョンセミナー12 「ありふれた病気，糖尿病にどう対処する？」

座長：石橋 俊（自治医科大学内科学講座内分沁代謝学部門）

演者：河盛 隆造（順天堂大学大学院スポーツロジックセンター）

共催：アステラス製薬株式会社/寿製薬株式会社/MSD 株式会社

第4会場（栃木県総合文化センター ギャラリー棟 3階 第1会議室）

8：50～9：50

教育講演9 「PM2.5による大気汚染の現状と課題」

座長：島 正之（兵庫医科大学公衆衛生学）

演者：大原 利真（国立環境研究所企画部）

12：20～13：10

ランチョンセミナー13 「脊椎疾患とロコモティブシンドローム」

座長：種市 洋（獨協医科大学整形外科学）

演者：野原 裕（獨協医科大学）

共催：第一三共株式会社

第5会場（栃木県総合文化センター ギャラリー棟 3階 第2会議室）

8：50～9：50

教育講演10 「地域がん登録 現状と課題 ～栃木県地域がん登録室より～」

座長：柳川 洋（自治医科大学公衆衛生学）

演者：大木いずみ（栃木県立がんセンター研究所 疫学研究室）

12：20～13：10

ランチョンセミナー14 「睡眠時無呼吸症候群の医療連携」

座長：春名 眞一（獨協医科大学病院 睡眠医療センター/獨協医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）

演者：宮本 雅之（獨協医科大学病院 睡眠医療センター/獨協医科大学 内科学（神経））

共催：フィリップス・レスピロニクス合同会社

第6会場（栃木県総合文化センター ギャラリー棟 3階 第3会議室）

8：50～9：50

教育講演11 「質的研究法とフォーカスグループインタビュー当事者エンパワメントとイノベーション」

座長：芳賀 博（桜美林大学大学院老年学研究科）

演者：安梅 勅江（筑波大学医学医療系国際発達ケア：エンパワメント科学研究室）

12：20～13：10

ランチョンセミナー15 「健康長寿のためのデンタルリンスを科学する」

座長：高塚 勉（サンスター株式会社オーラル

ケア事業部研究開発部)

演者：雫石 聰 (大阪大学)

共催：サンスター株式会社

第7会場 (栃木県総合文化センター ギャラリー棟
3階 第4会議室)

8:50~9:50

教育講演12 「人を対象とした医学的研究の倫理指
針：2014年改正のポイント」

座長：辻 一郎 (東北大学大学院医学系研究科
公衆衛生学分野)

演者：川村 孝 (京都大学健康科学センター)

12:20~13:10

ランチョンセミナー16 「高血圧治療ガイドライン
2014を踏まえた降圧療法」

座長：松岡 博昭 (獨協医科大学/宇都宮中央病
院)

演者：石光 俊彦 (獨協医科大学 循環器・腎臓
内科)

共催：武田薬品工業株式会社

第8会場 (ニューみくら2階 洋会議室207+208)

8:50~9:50

教育講演13 「科学的実践に向けた公衆衛生研究の
展望」

座長：松谷有希雄 (国立保健医療科学院)

演者：橋本 英樹 (東京大学大学院公共健康医学
専攻保健社会行動学分野)

10:00~12:00

シンポジウム24 「地域保健施策におけるソーシャ
ル・キャピタルを活用した戦略と戦術」

座長：藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター
研究所社会参加と地域保健研
究チーム)

藤内 修二 (大分県中部保健所)

演者：視覚化した健康格差情報に基づく地域づく
り

近藤 尚己 (東京大学大学院医学系研究科
健康教育・社会学分野)

住民組織活動を通じたソーシャル・キャピ
タルの醸成・活用 ~全国調査から~

藤内 修二 (大分県中部保健所)

ソーシャル・キャピタルの概念に基づく住
民活動の類型化とその評価

藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター
研究所社会参加と地域保健研

究チーム)

母子保健—とくに産後から始まるソーシャ
ルキャピタルの醸成

福島富士子 (東邦大学大学院看護学研究科)

地域保健対策におけるソーシャル・キャピ
タルの活用のあり方

武村 真治 (国立保健医療科学院)

12:20~13:10

ランチョンセミナー17 「T—スポット®. TB 導入と
実際」

座長：原田 登之 (一般財団法人免疫診断研究所)

演者：平尾有希雄 (株式会社エスアールエル 特
殊検査部 細胞性免疫培養検
査課)

共催：オックスフォード・イムノテック株式会社

第9会場 (宇都宮東武ホテルグランデ4階 さつき)

8:50~9:50

教育講演14 「国際保健と権力：協働か非協働か？」

座長：岩永 俊博 (公益社団法人地域医療振興協
会ヘルスプロモーション研究
センター)

演者：神馬 征峰 (東京大学大学院医学系研究科
国際地域保健学教室)

10:00~12:00

シンポジウム25 「学校保健と地域社会—連携と協
働を求めて—」

座長：門田新一郎 (岡山大学大学院教育学研究科)

伊藤 武彦 (岡山大学大学院教育学研究科)

演者：学校保健と地域の連携を俯瞰して 中央か
ら現場第一線まで

田嶋八千代 (岡山大学 (教育))

学校医は学校へ行こう！ 現場での連携の
成果と課題

岩田 祥吾 (南寿堂医院)

保健教育が未来の世代を育てる 養護教諭
が取り組んだ小学校での保健指導の実践か
ら

本岡 千草 (尾道市立向東小学校)

連携の困難さを乗り越えて アフリカでの
経験から

上村 弘子 (岡山大学大学院教育学研究科)

13:20~15:30

シンポジウム27 「地域におけるコミュニティ・
オーガニゼーション—連携と協働へ—」

座長：古市 照人（獨協医科大学医学部リハビリテーション科学講座）

西山 緑（獨協医科大学教育支援センター/獨協医科大学地域医療教育学講座）

演者：地域と医療のキーワードは『予防と連携、そして育成』—るもい健康の駅

笹川 裕（北海道留萌市立病院/NPO るもいコホートピア）

安心して在宅療養を続けられるよう地域で支援する—多職種連携「みぶの会」

前原 操（栃木県医師会）

笑顔・夢・感動あふれる元気なまちづくり

江本 節子（NPO 法人はらまちクラブ）

北海道の地域医療を支えるフロンティア精神—「旭川宣言」から広がる学生の輪

住友 和弘（旭川医科大学循環・呼吸医療再生フロンティア講座）

第10会場（宇都宮東武ホテルグランデ6階 きすげ）

8：50～9：50

特別報告2 「包括的健康評価体系（NHI）設計とその公衆衛生学活動実装に向けての試み」

演者：環境が決める健康価値とは何か

—Japan-NIH 構想と NHI 環境概念—

荻野 景規（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野）

健康の包括的な評価体系とその社会実装の実現に向けて：National Health Index（NHI）

磯 博康（大阪大学医学系研究科公衆衛生学教室）

高齢者における健康関連指標ベンチマークシステム実装の試み—JAGES プロジェクト

近藤 克則（千葉大学予防医学センター環境健康学研究部門）

10：00～12：00

シンポジウム26 「連携と協働による継続包括的日本型妊娠・出産・育児の支援と産後ケアを地域で実現する」

座長：加藤 則子（国立保健医療科学院生涯保健システム研究分野）

市川 香織（日本助産師会）

演者：妊娠期から始まる地域の支援—全数把握を目指して

佐藤 拓代（大阪府立母子保健総合医療セ

ンター母子保健情報センター）

産後ケアセンターのモデル事業から周産期支援を考える

市川 香織（日本助産師会）

山梨県における新たな産後育児支援のあり方

堀岡 伸彦（山梨県福祉保健部/山梨大学医学部社会医学講座/順天堂

大学医学部公衆衛生学）

地域保健の取り組みの中で子育て困難感にどう対応するか：北欧モデルから手掛りを探る

横山 美江（大阪市立大学大学院看護学研究科）

子どもの育ちを支援する

秋山千枝子（あきやま子どもクリニック）

13：20～15：30

シンポジウム28 「公衆衛生における歯科口腔保健の役割を考える—成人・高齢者を対象として—」

座長：三浦 宏子（国立保健医療科学院国際協力研究部）

青山 旬（栃木県立衛生福祉大学校）

演者：糖尿病の悪化防止を目的とした歯科保健医療の役割

井下 英二（滋賀県甲賀保健所）

脳血管疾患死亡の減少を目標とした歯科保健の展開

青山 旬（栃木県立衛生福祉大学校）

特定保健指導に早食いは正の行動目標を追加した市町村の実践

石濱 信之（三重県健康福祉部医療対策局健康づくり課）

在宅高齢者を対象とする市町村の歯科保健事業の全国調査結果から

尾崎 哲則（日本大学歯学部医療人間科学分野）

かかりつけ歯科医を持つ人はなぜ健康で長生きか？

矢吹 義秀（（公社）東京都港区芝歯科医師会）

9 優秀演題賞受賞演題（順不同）

• 乳幼児期のかかわりが社会性発達に及ぼす影響：出生コホートと保育コホートによる検証

田中 笑子（筑波大学）

• 一般労働者における暴力の実態と社会経済的階

層別に見た抑うつとの関連：2万人調査より
津野香奈美（和歌山県立医科大学医学部衛生学教室）

- 自殺死亡の地域格差：保健所管轄区域と市町村を基本単位とした疾病地図の描出と比較
坪井 聡（自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門）

- 認知機能低下に対する基本チェックリストの予測妥当性の検証：大崎コホート2006研究
遠又 靖丈（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野）

10 一般演題

一般演題数 合計1,492演題

《分科会別演題数》

| | 分 科 会 名 | 口 演 | 示 説 | 合 計 |
|--------|--------------------|-----|-------|-------|
| 第1分科会 | 疫学・保健医療情報 | 15 | 48 | 63 |
| 第2分科会 | ヘルスプロモーション | 25 | 82 | 107 |
| 第3分科会 | 生活習慣病・メタボリックシンドローム | 40 | 137 | 177 |
| 第4分科会 | 保健行動・健康教育 | 5 | 57 | 62 |
| 第5分科会 | 親子保健・学校保健 | 20 | 133 | 153 |
| 第6分科会 | 高齢者のQOLと介護予防 | 20 | 132 | 152 |
| 第7分科会 | 高齢者の医療と福祉 | 20 | 71 | 91 |
| 第8分科会 | 地域社会と健康 | 19 | 66 | 85 |
| 第9分科会 | 難病・障害の医療と福祉 | 5 | 27 | 32 |
| 第10分科会 | 精神保健福祉 | 10 | 49 | 59 |
| 第11分科会 | 口腔保健 | — | 31 | 31 |
| 第12分科会 | 感染症 | 29 | 47 | 76 |
| 第13分科会 | 健康危機管理 | 20 | 35 | 55 |
| 第14分科会 | 医療制度・医療政策 | 15 | 12 | 27 |
| 第15分科会 | 公衆衛生従事者育成 | 9 | 65 | 74 |
| 第16分科会 | 保健所・衛生行政・地域保健 | 10 | 56 | 66 |
| 第17分科会 | 公衆栄養 | 15 | 51 | 66 |
| 第18分科会 | 健康運動指導 | 5 | 18 | 23 |
| 第19分科会 | 食品衛生・薬事衛生 | 5 | 14 | 19 |
| 第20分科会 | 産業保健 | 10 | 25 | 35 |
| 第21分科会 | 環境保健 | 4 | 24 | 28 |
| 第22分科会 | 国際保健 | 5 | 6 | 11 |
| | 合 計 | 306 | 1,186 | 1,492 |

*第11分科会の発表は示説のみ

*取り下げられた演題を除く

11 各プログラム聴講者数（概数）

〈第1日目：11月5日（水）〉

| 会場 | プログラム | 演題・テーマ | 参加者概数 |
|-------|----------------|---|-------|
| 第1会場 | 開会式 | | 455名 |
| | 学会長講演 | 連携と協働：理念から実現に向けて | 430名 |
| | 特別講演1 | 支えることと支えられること～専門的職業と人生を生きること～ | 810名 |
| | 鼎談 | 連携と協働 | 145名 |
| | メインシンポジウム | 学校保健，地域保健，産業保健の連携 | 355名 |
| 第2会場 | シンポジウム1 | 健康づくりのための睡眠指針2014（睡眠12箇条） | 250名 |
| | シンポジウム6 | たばこ規制枠組み条約を踏まえたたばこ規制・対策の推進 | 140名 |
| 第3会場 | シンポジウム2 | 認知症対策と保健所とのかわり | 110名 |
| | 優秀演題賞選考会 | | 60名 |
| 第8会場 | シンポジウム3 | 災害における公衆衛生的な活動を行なう支援体制（DHEAT）の構築にむけて | 165名 |
| | シンポジウム7 | 原子力災害後の食品摂取による放射線曝露への対策と現状 | 60名 |
| 第9会場 | シンポジウム4 | がん登録からがん検診・がん対策へ～がん登録推進法成立を受けて～ | 80名 |
| | 地方衛生研究所研修フォーラム | 地方衛生研究所の機能強化および保健所との連携の推進 | 50名 |
| 第10会場 | シンポジウム5 | 健康影響予測評価（health impact assessment）と地域保健：理論と実践 | 120名 |
| | シンポジウム8 | 栃木県脳卒中啓発プロジェクトの取組～脳卒中死亡率の全国ワースト脱却を目指して～ | 95名 |

〈第2日目：11月6日（木）〉

| 会場 | プログラム | 演題・テーマ | 参加者概数 |
|------|----------|--|-------|
| 第1会場 | 教育講演1 | 日本人の食事摂取基準（2015年版）：活用のための科学と技術 | 295名 |
| | シンポジウム9 | 活動事例から公衆衛生活動の方法論の可視化～公衆衛生看護のあり方委員会からの提案～ | 250名 |
| | 特別講演2 | 「がんばらない」けど「あきらめない」一命を支えるということ | 530名 |
| | シンポジウム17 | 特定保健指導において，専門職の“保健指導力”をいかに高めるか | 355名 |
| 第2会場 | 教育講演2 | 働き盛り世代におけるヘルスリテラシーと健康教育 | 290名 |
| | シンポジウム10 | 東日本大震災からの復興～中長期視点で求められていることを考える～ | 240名 |
| | シンポジウム12 | 日本人の長寿を支える「健康な食事」で，健康増進と産業振興の真の協働は可能か | 360名 |
| | シンポジウム18 | 次期健やか親子21を踏まえた母子保健計画の策定について | 270名 |
| 第3会場 | 教育講演3 | プリオン病：わが国の実態と対策の連携 | 50名 |
| | 奨励賞受賞講演 | | 70名 |
| | シンポジウム13 | これ以上の身体活動低下を防ぐための社会環境の整備と改善 | 165名 |
| | シンポジウム19 | がん患者の就労支援—医療現場・地域・職域・行政における連携の実際 | 105名 |

| 会場 | プログラム | 演題・テーマ | 参加者概数 |
|-------|----------|--|-------|
| 第8会場 | 教育講演4 | 21世紀的たばこ問題の俯瞰～喫煙から分煙そして無煙へ、新たなタバコ製品登場の意味 | 85名 |
| | シンポジウム11 | 新たな難病制度における疾病登録の意義（国立保健医療科学院企画シンポジウム） | 120名 |
| | シンポジウム14 | 公衆衛生モニタリング・レポート活動の展望と課題 | 50名 |
| | シンポジウム20 | セーフティプロモーション（公衆衛生アプローチによる安全・安心づくり）—理論と実際 | 30名 |
| 第9会場 | 教育講演5 | 栃木県における近代予防衛生—天然痘と闘った医師たち— | 40名 |
| | 特別セミナー1 | 医療分野の研究開発の新たな体制について | 85名 |
| | シンポジウム15 | 地域基盤型 IPE（専門職連携教育）による連携力の育成 | 75名 |
| | シンポジウム21 | 公衆衛生専門職に必要なマネジメント能力 | 115名 |
| 第10会場 | 特別報告1 | イギリスが学ぶ日本の保健所制度 | 70名 |
| | 特別セミナー2 | 健康労働寿命の延長に向けて—新たな生活習慣病対策— | 140名 |
| | シンポジウム16 | コホート研究と政策提言—根拠に基づく連携と協働に向けて— | 75名 |
| | シンポジウム22 | これからの建築物衛生管理の問題点と方向 | 40名 |

〈第3日目：11月7日（金）〉

| 会場 | プログラム | 演題・テーマ | 参加者概数 |
|-------|----------|---|-------|
| 第1会場 | 教育講演6 | わが国一般高齢者の低栄養の現状と対策 | 175名 |
| | 特別講演3 | 現場に元気・活気を与えるコミュニケーション術～スポーツ現場に学ぶベップトークとは～ | 225名 |
| | 市民公開講座 | 認知症の予防・治療・介護 | 390名 |
| 第2会場 | 教育講演7 | 健康づくりのための身体活動基準2013とアクティブガイド | 120名 |
| 第3会場 | 教育講演8 | 第二期特定健診保健指導の新規課題の対応方法 | 185名 |
| | シンポジウム23 | 多角的視点から見た自殺対策の今後の課題 | 175名 |
| 第4会場 | 教育講演9 | PM2.5による大気汚染の現状と課題 | 50名 |
| 第5会場 | 教育講演10 | 地域がん登録現状と課題～栃木県地域がん登録室より～ | 50名 |
| 第6会場 | 教育講演11 | 質的研究法とフォーカスグループインタビュー—当事者エンパワメントとイノベーション | 135名 |
| 第7会場 | 教育講演12 | 人を対象とした医学的研究の倫理指針：2014年改正のポイント | 75名 |
| 第8会場 | 教育講演13 | 科学的実践に向けた公衆衛生研究の展望 | 65名 |
| | シンポジウム24 | 地域保健施策におけるソーシャル・キャピタルを活用した戦略と戦術 | 240名 |
| 第9会場 | 教育講演14 | 国際保健と権力：協働か非協働か？ | 60名 |
| | シンポジウム25 | 学校保健と地域社会—連携と協働を求めて— | 80名 |
| | シンポジウム27 | 地域におけるコミュニティ・オーガニゼーション—連携と協働へ | 75名 |
| 第10会場 | 特別報告2 | 包括的健康評価体系（NHI）設計とその公衆衛生学活動実装に向けての試み | 75名 |
| | シンポジウム26 | 連携と協働による継続包括的日本型妊娠・出産・育児の支援と産後ケアを地域で実現する | 100名 |
| | シンポジウム28 | 公衆衛生における歯科口腔保健の役割を考える—成人・高齢者を対象として— | 110名 |

12 自由集会

〈11月4日（火）17:30～19:30〉

| 番号 | 集 会 名 | 会 場 | 参加者数 |
|----|---|----------------------------------|------|
| 3 | 第7回 HIA 研究会 | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 5Fゼミ室508 | 10名 |
| 4 | 第6回若葉保健師からのメッセージ～語る保健師には福来たる～ | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 5F 講義室501 | 9名 |
| 5 | “地域の力”（ソーシャル・キャピタル）と健康—基礎編— | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 5F 講義室502 | 21名 |
| 6 | 第17回レセプト情報の活用を考える自由集会 | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 5F 講義室504 | 情報なし |
| 8 | 在宅ケアを担う家族介護者の健康を守ろう | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 6F 講義室602 | 6名 |
| 9 | 地域診断と新しい母子保健計画の作り方を学ぼう!! ～知ろう・語ろう・考えよう!“一歩先行く”健やか親子21～ | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 6F 講義室604 | 23名 |
| 10 | 「健康づくりと運動」自由集会 | 宇都宮東武ホテルグランデ 6F きすげ | 18名 |
| 11 | 震災後の福島県における保健活動の現状 | 宇都宮東武ホテルグランデ 6F 菊 | 15名 |
| 12 | 前向き子育てプログラム—その理論と実践 | 栃木県総合文化センター 3F 第3会議室 | 5名 |
| 13 | 地域保健従事者の派遣支援活動について～管理栄養士の機能分担能力 を發揮するために～ | ニューみくら 3F 洋会議室305 | 13名 |

*以下、キャンセル

1. 精神障がい親と暮らす子どもへの支援 ～地域での支え方、支援の繋ぎ方を考える～
2. 行政保健師の孤立予防型コミュニティづくりにおける実践的支援技術を明らかにする方法の検討
7. 第7回法医公衆衛生学研究会
14. 被災地の母親の自己効力感、自尊心を回復する「リフレッシュ・ママクラス」

〈11月5日（水）18:00～20:00〉

| 番号 | 集 会 名 | 会 場 | 参加者数 |
|----|---|-------------------|------|
| 15 | 『日本人の食事摂取基準（2015年版）』にみる BDHQ 小児版を用いた 小児栄養疫学研究の重要性（BDHQ ユーザクラブ） | ニューみくら 3F 洋会議室305 | 19名 |
| 16 | 第7回公衆衛生・公衆栄養分野における管理栄養士の活動を考える会 | ニューみくら 3F 洋会議室306 | 37名 |

〈11月5日（水）18:00～19:30〉

| 番号 | 集 会 名 | 会 場 | 参加者数 |
|----|--|-----------------------------------|------|
| 17 | 共生・共感のエンパワメント | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 4F 大講義室401 | 20名 |
| 18 | 第2回職業感染予防ネットワークの集い | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 4F 大講義室402 | 6名 |
| 19 | ナラティブな公衆衛生教育の新方法、マイクロレクチャー、あなたも 作成してみませんか？ | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 5F 講義室501 | 11名 |
| 20 | ノルディック・ポールウォーキングによる健康支援～1次予防・2次 予防への運動効果と今後の展開を考える～ | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 5F 講義室502 | 25名 |
| 21 | 都道府県保健所・保健所設置市における難病保健活動と新難病医療法 —課題や展望について考える— 共催：平成26年度厚生労働科学研究費補助金難病性疾患政策研究事業 難病患者への支援体制に関する研究班 | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 5F 講義室503 | 情報なし |

| 番号 | 集 会 名 | 会 場 | 参加者数 |
|----|---|----------------------------------|------|
| 22 | 保健医療データ分析のための Amos & SPSS の活用講座 | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 5F 講義室504 | 情報なし |
| 23 | 公衆衛生と危機管理 第10回 危機管理と ICS/標準化 | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 5F ゼミ室505 | 17名 |
| 24 | 住まいと健康フォーラム | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 5F ゼミ室506 | 15名 |
| 25 | モニタリングレポート感染症衛生予防 | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 5F ゼミ室507 | 12名 |
| 26 | 動機付け面接法：意欲を引き出す保健指導・服薬指導スキル | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 5F ゼミ室508 | 10名 |
| 27 | 保健師魂と公衆衛生活動～熱き先輩保健師に学ぶ保健師魂と，魂を理論で分析する～ | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 6F 講義室601 | 37名 |
| 28 | “地域の力”（ソーシャル・キャピタル）と健康—最新の知見と実際の保健医療行政への応用— | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 6F 講義室602 | 情報なし |
| 29 | 公衆衛生医師の集い | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 6F 講義室603 | 32名 |
| 30 | 全国衛生行政研究会セミナー | 宇都宮共和大学宇都宮シティ キャンパス 6F 講義室604 | 20名 |

〈11月5日（水）18:30～20:30〉

| 番号 | 集 会 名 | 会 場 | 参加者数 |
|----|------------------------|----------------------|------|
| 31 | 保健師による生存権を護る活動について考えよう | 宇都宮東武ホテルグランデ 6F 菊 | 情報なし |
| 32 | 感染症情報の現状と展望を考える会 | 宇都宮東武ホテルグランデ 6F 藤 | 35名 |

〈11月5日（水）19:00～21:00〉

| 番号 | 集 会 名 | 会 場 | 参加者数 |
|----|-------------------|-------------------------|------|
| 33 | 結核集団発生の対策に関する自由集会 | 栃木県総合文化センター 3F 第2会議室 | 情報なし |
| 34 | あなたもいつか統括保健師 | 栃木県総合文化センター 3F 第3会議室 | 70名 |
| 35 | ヘルスコミュニケーション | 栃木県総合文化センター 3F 第4会議室 | 27名 |

〈11月5日（水）19:30～21:00〉

| 番号 | 集 会 名 | 会 場 | 参加者数 |
|----|-------------------------------------|------------------------|------|
| 36 | 精神障がい者家族会を元気にしている家族ピア教育プログラムを紹介します！ | 宇都宮東武ホテルグランデ 6F きすげ | 4名 |

〈11月6日（木）18:00～20:00〉

| 番号 | 集 会 名 | 会 場 | 参加者数 |
|----|--|----------------------|------|
| 37 | 住民，行政が協働した地域づくりを考える | 宇都宮東武ホテルグランデ 6F 菊 | 9名 |
| 38 | 日本保健師活動研究会—これからの保健師活動—保健所と市町村の協働による地区診断— | 宇都宮東武ホテルグランデ 6F 藤 | 60名 |

| 番号 | 集 会 名 | 会 場 | 参加者数 |
|----|---|----------------------|------|
| 39 | 健康生成論とストレス対処力SOCに関する学習・研究交流集会 (第8回) | ニューみくら 3F 洋会議室305 | 38名 |
| 40 | 被災地で行う公衆衛生看護実習～福島県被災 高齢者住宅における 実習を通して～ | ニューみくら 3F 洋会議室306 | 20名 |

<11月6日(木) 18:00～19:30>

| 番号 | 集 会 名 | 会 場 | 参加者数 |
|----|--|-----------------------------------|------|
| 41 | 全国いきいき公衆衛生の会 『公衆衛生活動をいきいき活動するために一地域だけ大切なこと』 | 宇都宮共和大学宇都宮シテイ キャンパス 4F 大講義室401 | 60名 |
| 42 | がん検診率向上の成功事例を共有する会 | 宇都宮共和大学宇都宮シテイ キャンパス 5F ゼミ室507 | 6名 |
| 43 | 開業保健師のつどい | 宇都宮共和大学宇都宮シテイ キャンパス 5F 講義室501 | 情報なし |
| 44 | 多職種で考える・進める歯科保健 | 宇都宮共和大学宇都宮シテイ キャンパス 5F 講義室502 | 38名 |
| 45 | 保健師基礎教育における地区診断の学び評価の方法 | 宇都宮共和大学宇都宮シテイ キャンパス 5F 講義室503 | 22名 |
| 46 | 介護保険情報エビデンスから認知症者ケアを考える | 宇都宮共和大学宇都宮シテイ キャンパス 5F 講義室504 | 20名 |
| 47 | PDCA サイクルをまわす「個」から「地域」へ広げる保健師活動 | 宇都宮共和大学宇都宮シテイ キャンパス 6F 講義室602 | 41名 |
| 48 | 刑事施設における結核対策―連携を焦点にあてて | 宇都宮共和大学宇都宮シテイ キャンパス 6F 講義室603 | 31名 |
| 49 | 男性保健師の会 | 宇都宮共和大学宇都宮シテイ キャンパス 6F 講義室604 | 情報なし |

<11月6日(木) 18:30～20:30>

| 番号 | 集 会 名 | 会 場 | 参加者数 |
|----|-------------------------------|-------------------------|------|
| 50 | 低線量被曝と健康被害を考える集い | 栃木県総合文化センター 3F 第2会議室 | 70名 |
| 51 | 公衆衛生情報の有効活用―「公衆衛生ねっと」を中心に― | 栃木県総合文化センター 3F 第3会議室 | 35名 |
| 52 | 第23回多胎児を産み育てる課程への保健サービスを考える集会 | 栃木県総合文化センター 3F 第4会議室 | 25名 |
| 53 | 喫煙対策 | 宇都宮東武ホテルグランデ 6F きすげ | 30名 |

13 展示ブース

〈書籍展示〉

- 株式会社紀伊國屋書店 宇都宮店
- 株式会社クマノミ出版
- 一般財団法人厚生労働統計協会
- 株式会社社会保険出版社
- ゼネラルヘルスケア株式会社
- 株式会社東京法規出版
- 株式会社ニホン・ミック
- 株式会社フリール

〈企業展示〉

- ESRI ジャパン株式会社
- いわさきグループ
- 株式会社VIP グローバル
- NTT アイティ株式会社
- オックスフォード・イムノテック株式会社
- 花王 Q-STATION
- 株式会社キアゲン
- 公益財団法人健康・体力づくり事業財団
- 株式会社健康日本総合研究所
- サンスター株式会社
- 株式会社志成データム
- 宝通商株式会社
- 東洋羽毛北関東販売株式会社 栃木営業所
- 一般社団法人日本家族計画協会
- 日本ビーシージー製造株式会社
- パナソニックヘルスケア株式会社
- 株式会社メルシー
- 株式会社ヤマト
- 株式会社 YKC

〈企画展示〉

- いちはら歯っぴい8020応援隊
- 静岡県
- 道立根室・中標津保健所

〈一般展示〉

- NPO 法人ウェルビーイング
- 特定非営利活動法人 ADMS
- 桜美林大学
- 大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター
- 一般財団法人簡易保険加入者協会
- 慶應義塾大学大学院公衆衛生学位プログラム
- 結核研究所
- 公益財団法人結核予防会本部
- NPO 法人国際エコヘルス研究会
- 国立がん研究センターがん対策情報センター
- 国立保健医療科学院
- 彩の国連携力育成プロジェクト
(埼玉県立大学, 埼玉医科大学, 城西大学, 日本工業大学)
- NPO 法人子宮頸がんを考える市民の会
- ストップ結核パートナーシップ日本
- 聖路加国際大学大学院修士課程公衆衛生看護学上級実践コース
(保健師資格取得コース)
- 一般社団法人全国保健師教育機関協議会
- 全国保健師長会
- 特定非営利活動法人地域がん登録全国協議会
- 帝京大学大学院公衆衛生学研究科
(専門職大学院)
- 東京医療保健大学・お茶の水女子大学メディカルフットケア JF 協会
- 東京大学大学院医学系研究科
- 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所
- 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野・地域保健支援センター
- 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 国立大学法人長崎大学
- 前向き子育てプログラム
- 公立大学法人山形県立保健医療大学
- 山梨大学大学院社会医学講座
- 有効性評価に基づくがん検診のガイドライン

14 付随行事

| 行 事 名 | 月 日 | 時 間 | 会 場 |
|--|----------|-------------|--------------------------------|
| <関連行事> | | | |
| 日本公衆衛生学会理事会 | 11月4日(火) | 10:00~12:00 | 栃木県総合文化センター 3階・特別会議室 |
| 日本公衆衛生学会評議員会 | 11月4日(火) | 13:30~15:00 | 栃木県総合文化センター 3階・第2会議室 |
| 日本公衆衛生雑誌拡大編集委員会 | 11月5日(水) | 12:20~13:20 | 栃木県総合文化センター 3階・特別会議室 |
| 平成26年度 感染症事例のリスクアセスメント研修会 | 11月7日(金) | 13:20~17:20 | ニューみくら 2階・洋会議室207+208 |
| <付随行事> | | | |
| 衛生学公衆衛生学教育協議会総会 | 11月4日(火) | 15:30~18:30 | 栃木県総合文化センター 3階・第2会議室 |
| 全国衛生部長会議 | | | |
| 役員会 | 11月4日(火) | 11:00~12:00 | 宇都宮東武ホテルグランデ 4階・さつき |
| 総会 | 11月4日(火) | 13:00~17:00 | 宇都宮東武ホテルグランデ 6階・龍田 |
| 情報交換会 | 11月4日(火) | 18:00~20:00 | 宇都宮東武ホテルグランデ 4階・松柏 |
| 平成26年度政令市保健所長会 連絡協議会・全国保健所長会 政令市部会総会 | 11月3日(月) | 10:00~12:00 | ホテルマイステイズ宇都宮 11階・グランドボールルーム |
| 平成26年度全国政令市衛生部局長会 | | | |
| 総会 | 11月3日(月) | 14:00~16:00 | ホテルマイステイズ宇都宮 11階・グランドボールルーム |
| 会長表彰式 | 11月3日(月) | 16:30~17:00 | ホテルマイステイズ宇都宮 11階・グランドボールルーム |
| 情報交換会 | 11月3日(月) | 18:30~20:30 | ホテルマイステイズ宇都宮 9階・ルシール |
| 全国保健所長会 | | ※時間は予定 | |
| 第71回総会 | 11月4日(火) | 10:00~12:30 | ホテルニューイタヤ 本館3階・天平の間 |
| 研究事業報告 | 11月4日(火) | 13:30~14:20 | ホテルニューイタヤ 本館3階・天平の間 |
| 会員協議 | 11月4日(火) | 14:30~17:00 | ホテルニューイタヤ 本館3階・天平の間 |
| 意見交換会 | 11月4日(火) | 17:30~19:30 | ホテルニューイタヤ 南館3階・蓬萊の間 |
| 地方衛生研究所全国協議会 | | | |
| 第65回総会 | 11月4日(火) | 13:30~17:00 | 栃木県総合文化センター 3階・第1会議室 |
| 情報交換会 | 11月4日(火) | 18:00~20:00 | 宇都宮東武ホテルグランデ 4階・松柏 |
| 全国精神保健福祉センター長会 同研究協議会 | | | |
| 理事会 | 11月4日(火) | 11:00~12:00 | ホテルニューイタヤ 南館 B1階・ローズルーム |
| センター長会議 | 11月4日(火) | 13:00~14:45 | ホテルニューイタヤ 南館4階・桜の間 |
| 研究協議会 | 11月4日(火) | 14:55~17:00 | ホテルニューイタヤ 南館4階・桜の間 |
| 意見交換会 | 11月4日(火) | 17:30~19:00 | ホテルニューイタヤ 本館3階・天平の間 |
| 研究協議会 | 11月5日(水) | 9:10~15:55 | ホテルニューイタヤ 本館3階・天平の間 |
| 全国保健統計協議会 | | ※時間は予定 | |
| 役員会 | 11月4日(火) | 11:30~12:00 | 栃木県庁本館 6階・大会議室1 |
| 総会 | 11月4日(火) | 13:30~14:00 | 栃木県庁本館 6階・大会議室2 |
| 講演会・事例発表 | 11月4日(火) | 14:10~16:00 | 栃木県庁本館 6階・大会議室2 |
| 全国保健師教育機関協議会 | | | |
| 理事会 | 11月4日(火) | 10:00~12:00 | コンセーレ 3階・研修室 |
| 秋季教員研修会 | 11月4日(火) | 13:30~17:40 | コンセーレ 1階・大ホール |
| 懇親会 | 11月4日(火) | 18:00~20:00 | コンセーレ 2階・アイリスホール |

15 第73回日本公衆衛生学会総会収支決算

〈収入〉

(単位：円)

| 科 目 | 決算額 | 内 訳 |
|--------------------|------------|---|
| 1 負担金収入 | 12,423,000 | |
| (1) 都道府県等分担金 | 4,923,000 | 47都道府県, 20政令指定都市 (定額) |
| (2) 公衆衛生学会負担金 | 3,000,000 | 日本公衆衛生学会 |
| (3) 開催地負担金 | 4,500,000 | 栃木県: 300万円, 宇都宮市: 150万円 |
| 2 抄録集売上収入 | 29,317,500 | |
| (1) 事前予約販売 | 17,632,500 | 2,351件 (@7,500円) |
| (2) 抄録集送料 | 781,000 | 1,562件 (@500円) |
| (3) 当日販売 | 10,784,000 | 1,348件 (@8,000円) |
| (4) 通信販売 | 120,000 | 15件 (@8,000円) |
| 3 演題申込金収入 | 4,500,000 | 1,500件 (@3,000円) |
| 4 意見交換会参加費収入 | 1,020,000 | |
| (1) 事前申込 | 630,000 | 126件 (@5,000円) |
| (2) 当日申込 | 390,000 | 65件 (@6,000円) |
| 5 諸収入 | 29,400,109 | |
| (1) 広告料収入 | 648,000 | 1件 (@216,000円), 1件 (@162,000円), 5件 (@54,000円) |
| (2) 企業展示出展料収入 | 4,104,000 | 19小間 (@216,000円) |
| (3) 一般展示出展料収入 | 918,000 | 34小間 (@27,000円) |
| (4) 書籍展示出展料収入 | 201,788 | 18小間 (@10,800円), 1小間 (@7,388円) |
| (5) ランチョンセミナー共催金収入 | 19,872,000 | 1件 (@1,512,000円), 5件 (@1,296,000円), 11件 (@1,080,000円) |
| (6) 市民公開講座共催金収入 | 500,000 | 1件 |
| (7) 寄付・助成金収入 | 3,150,000 | 17件 |
| (8) 雑収入 | 6,321 | 預金利息他 |
| 合 計 | 76,660,609 | |

〈支出〉

(単位：円)

| 科 目 | 決算額 | 内 訳 |
|----------------------|------------|-----------------------------|
| 1 事前準備費 | 21,363,534 | |
| (1) 事務局費 | 1,948,980 | 事務局人件費, 連絡調整費 |
| (2) 会議費・主催者交通費等 | 615,030 | 実行委員会, 学術部会, 連絡会議, 打合せ会議等 |
| (3) 前回大会視察・プロモーション経費 | 231,180 | 三重総会視察 |
| (4) 関連学会プロモーション経費 | 420,554 | 日本学校保健学会, 日本食育学会, 日本産業衛生学会等 |
| (5) ホームページ作成費 | 334,800 | Web作成・更新, サーバー使用料等 |
| (6) 演題登録・参加登録関連費 | 1,150,200 | システム構築・管理・利用費 |
| (7) 通信運搬費 | 1,314,996 | 発送代 |
| (8) 印刷・制作費 | 14,651,772 | 封筒, 抄録集, 参加証, ポケットプログラム等 |
| (9) 消耗品費 | 25,920 | |
| (10) その他 | 670,102 | 郵便振替加入者負担金, 市民公開講座広告掲載料 |
| 2 当日運営費 | 40,574,100 | |
| (1) 会場関連費 | 10,994,005 | 会場使用料, 付帯設備費 |
| (2) 当日運営人件費 | 8,260,920 | ディレクター・スタッフ人件費 |
| (3) 音響・映像関連機材 | 9,837,990 | プロジェクター, パソコン等 |
| (4) 看板・展示・備品関連費 | 7,518,420 | 看板, 展示小間, ポスターパネル等 |
| (5) シャトルバス | 194,400 | 意見交換会往復用 |
| (6) 託児所手配 | 594,000 | |
| (7) 交通・宿泊・控室関連費 | 2,420,727 | 主催者・スタッフ分交通費, 宿泊費, 弁当等 |
| (8) 会議用備品 | 753,638 | 文具, コピー機レンタル, 携帯電話レンタル等 |
| 3 招請費 | 2,226,939 | 謝金, 交通費 |
| 4 意見交換会費用 | 3,442,754 | |
| 5 事後処理費 | 3,873,747 | 引継会資料, 報告書 |
| 6 運営業者委託費 | 5,179,535 | |
| 合 計 | 76,660,609 | |